

～手話通訳スキルを美術館や劇場で活かしてみませんか～
「芸術文化分野の手話通訳研修プログラム」を初開講！
受講生を募集開始します

応募締め切り：令和6年6月26日（水曜）

東京都及び公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京は、世界陸上・デフリンピックが開催される2025年に向けて、誰もが芸術文化を楽しめる環境の整備を進めています。その一環として、「芸術文化分野の手話通訳研修プログラム」を新たに開講します。

本研修では、本年7月から11月までの全8回において講義のほか、鑑賞サポートや芸術文化にかかわるシンポジウム等のさまざまな手話通訳の場面を想定した実践的なトレーニングも実施予定。修了後には、都立文化施設をはじめとする美術館でのガイドツアーやワークショップ、劇場での演劇鑑賞など、手話を使った鑑賞体験をサポートできる人材として活躍していただくことを期待しています。

芸術文化分野での手話通訳に興味関心のある方はぜひご参加ください。



■「芸術文化分野の手話通訳研修プログラム」概要

- 開催日： 令和6年7月27日（土曜）から11月17日（日曜）のうち全8回
開催場所： アーツカウンシル東京（東京都千代田区九段北4丁目1-28）会議室ほか
対象者： 手話通訳士の資格または同程度の能力を持つ方
主催： 東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京
受講料： 無料（ただし、テキスト代・視察先の入場料等は実費負担（5,000円程度））
定員： 15名程度
ウェブサイト：<https://creativewell.rekibun.or.jp/>
申込〆切： 令和6年6月26日（水曜）
※詳細は別紙のとおり



本件は、「『未来の東京』戦略」を推進する事業です。戦略15 文化・エンターテインメント都市戦略

【お問合せ先】

生活文化スポーツ局文化振興部 電話：03-5000-7229

公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京 電話：03-6256-8435

芸術文化分野の手話通訳研修プログラム

1 事業概要

美術館や劇場等で手話通訳を担う人材の活躍により、文化施設や文化事業における情報アクセシビリティを保障し、聴覚障害者が芸術文化にアクセスしやすい環境を整えるために、本年7月から11月までの期間、芸術分野で手話通訳を担える通訳技術の習得を目的とした実践的なトレーニングを実施します。

2 対象者

以下の2つの条件に当てはまる方が対象です。

- ・ 芸術文化分野の手話通訳に経験や興味・関心を有する者
- ・ 手話通訳士又は手話通訳士と同程度の能力を有する者

3 定員

15名程度（選考あり（1次：書類選考、2次：面接））

4 研修内容

- ・ 芸術文化領域の手話通訳を行う上での留意点（講義）
- ・ 美術館や劇場等で手話通訳を行うにあたっての事前準備について（ワークショップ）
- ・ 芸術文化領域の手話通訳表現の実践（講師陣からのフィードバックあり）
- ・ 場面別手話通訳（美術館や劇場などのガイドツアーやシンポジウム等を想定）

5 研修スケジュール

研修は全8回、13時00分から17時00分まで

7月27日（土）	8月17日（土）	8月18日（日）	9月7日（土）
9月21日（土）	10月12日（土）	11月16日（土）	11月17日（日）

※ 今後の状況により予定が変更となる場合があります。

6 受講料

無料

※ ただし、テキスト代・視察先の入場料等は実費負担（5,000円程度）

7 応募方法

応募はメールで受け付けます。応募の詳細は以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://creativewell.rekibun.or.jp/>



8 応募受付期間

令和6年6月6日（木）14時00分から
令和6年6月26日（水）24時00分まで



Creative Well-being Tokyo

だれもが文化でつながるプロジェクト

本事業は東京文化戦略 2030 のプロジェクト「クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー」の一環として実施します。

「クリエイティブ・ウェルビーイング・トーキョー」とは、芸術文化の力や都立文化施設の資源を活用し、高齢化や共生社会など、東京の社会課題解決への貢献を目指し、高齢者、障害者、外国人、乳幼児等を対象者に「アクセシビリティ向上」と「鑑賞・創作・発表機会の拡大」に取り組むプロジェクトです。本プロジェクトでは、都立文化施設の情報アクセシビリティ環境を整備し、障害や年齢等を問わずあらゆる人が文化芸術を鑑賞するとともに、参加・創造するためのプログラムを実施しています。